

各種予防接種が大きく前進

その他の
質問事項

▼ 不動産の相続義務化について

公明党

こまつ
小松

かつこ
勝子



◆ 予防接種補助について

問 带状疱疹及びおたふく風邪ワクチンの予防接種に対する補助の考えと内容はどうか。

答 市民から多くの要望が寄せられ行政評価の結果、実施することとした。

带状疱疹ワクチンの対象年齢は罹患者数が増加し始める50歳以上。生ワクチンと不活化ワクチンの2種類あり、生ワクチンは30000円、不活化ワクチンは2回接種が必要なため60000円の2回で1万2千円の補助。

おたふく風邪ワクチンは1回分30000円の補助である。国の定期接種化が決まるまで補助は継続する。

(市長・健康づくり課)

◆ 子どもの人権について

問 市内全小中学校のタブレット端末に悩み相談アプリを導入するとのことだが実証実験の結果は大変有効な手段と感



ワクチン接種

じている。来年度、市内全小中学校に導入する。その際寄せられた相談を見逃さず、直ちに必要な支援につなげられるようアプリの効果的、効率的な運用を図っていく。

(教育長)

◆ 大型火葬炉について

問 本市の斎場では大きな棺は対応できない。対応できる斎場の考えは。

答 県内には大型火葬炉の斎場はない。本市の受け入れ可能な棺のサイズを超える場合は、受け入れ可能と思われる斎場を案内できる体制を整えていく。

(生活環境課)

まちの未来につなげる人づくりについて



政進会
ももせ
百瀬

ともひこ
友彦

その他の
質問事項

▼ 文化財修復と人材育成について

▼ 防災対策について

◆ 塩尻ワイン大学における塩尻アンバサダー養成コースについて

問 ワイン大学4期目以降のスケジュールと展望像はいかがか。

答 アンバサダーコースは終了し、担い手確保に向けて、醸造用ブドウ栽培やワイナリー設立希望者に向けたカリキュラムを検討。今後はアンバサダーが市の魅力発信を行うことで、塩尻産ワインの消費拡大、交流人口の増加を期待する。

(農林課)

◆ 木曽漆器産業について

問 木曽漆器産地において今後独自に木曽漆器のPRを目指した計画が行われるような動きが生じた際に、市として財政的な支援は検討可能か。

答 既存の取組みに捉われない新しい視点で産地独自のプロモーションの提案があれば、一緒に検討していきたい。



木曽漆器の展示会出展の様子

(産業政策課)

要望 木曽漆器産地と共に伴走していただきながら、充実したサポートを行っていただきたい。

◆ 多文化共生について

問 外国籍市民の方に対しての情報周知はどのように発信しているか。

答 転入した外国籍の方々に「生活ガイドブック」を配布し、広報塩尻や市公式SNSへ誘導を図っている。また日本語講座に来た方に機関紙「ようこそ」を配布し情報を発信している。

(市民課)